

平成 28 年度
事業計画書

公益財団法人 前川財団

平成 28 年度事業計画書

I. 基本方針

当財団は、株式会社前川製作所の社長である前川正氏が3百万円を拠出し、平成26年4月1日に設立した後、平成27年1月16日をもって公益財団法人となりました。

定款に掲げている、家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育の研究及び実践を支援し、また、その精神を現代の子育て・教育環境に反映させていく方策の探求及び実践を通じて、失われつつある日本型共同体の再建を図り、そこで育まれた優秀な人材を世の中に輩出していくことをもって、永続的な日本の発展に寄与し続けるという目的を達成するために、平成26年度より公益活動を開始しております。

平成28年度においても当該基本方針を引き続き採用し、公益活動に邁進していく所存でございます。

目的の補足として、定款をわかりやすく、以下の文章を理事長挨拶として公表しています。

私たち前川財団は、将来の日本の発展を牽引し、国際社会の中で、尊敬され、信頼されながら活躍する優秀な人材が輩出することを切に願っています。その 21 世紀の日本の発展に不可欠な若者には、特に幼少年期における教育、いわゆる「子育て」が重要であるとの思いを込め、これからの「子育て＝幼少年期の家庭教育・地域教育」を、原点に立ち返り、日本の歴史と文化を振り返りながら、その将来的なありかたの研究と実践について、できる限りの支援を行って参ります。

元来、日本における「子育て」の伝統的な教育は、人にもともと備わっている、人や自然に対するやさしさと、人と人との結びつき（「場所と共同体」）を育むための基礎教育となっていたもので、世界で高く評価されている「もったいない」「もてなし」や「思いやり」「礼儀正しさ」「清潔さ」「協調性」をはじめとする「日本人らしさ、日本人としての資質」と通底しています。

このような教育は、室町時代頃から始まり江戸時代には完成されていたと言われていました。日本人は、伝統的・文化的に、その時代に合った地域共同体を各地に形成し、共同体の中の人間に対する信頼と思いやりを通じた「個から共同体の意思」を重んじる教育として、自律的になされてきたからではないでしょうか。

近年、核家族が進む時代の風潮の中で、「子育て」を、家族、地域が共同体として皆で担うという文化が失われつつあります。これからの「子育て」に求められるものは何か、今に忘れられているものは何かから始まり、日本の持つ「子育て」の良き伝統を生かして、21 世紀型の理想的な家庭・学校・地域連携の教育システム創生の手助けを行いたいと考えております。

II. 事業計画

1. 定款第 4 条 1 項 1 号事業

(1) 目的

家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育について研究している研究者らに対する研究助成及びこのような教育を現代の子育て・教

育環境の下で実践している団体等に対する活動助成を通じ、家庭・地域社会の教育に関する研究及び実践活動の活性化を促進することを目的とする。

(2) 事業内容

① 助成金総額

1,800万円程度（1件当たりの目安は50万円～100万円）

② 助成対象者

家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育の研究又は実践を行っている者を助成対象とする。

③ 募集方法

当財団ホームページ等を通じて応募を受け付けるなど、公平性の担保される方法により広く公募する。

(3) 実施時期

- ・募集：平成28年7月15日～8月15日
- ・選考：平成28年8月下旬開催予定の選考委員会
- ・承認：平成28年9月上旬開催予定の理事会
- ・通知及び交付：理事会の承認後、速やかに行う。

2. 定款第4条1項2号事業

(1) 目的

家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育を現代の子育て・教育環境に反映させていくための取り組みとして、本分野における有識者や活動家を登壇者として招き、一般公衆への啓蒙活動を行うことにより、家庭・地域社会の教育の活性化を促進することを目的とする。

(2) 事業内容及び実施時期

未来教育シンポジウム開催について

- ◆内容：「親子と地域—子育ての基盤再生に向けて—」
- ◆場所：公益財団法人和敬塾・大講堂（JR目白駅より都バス）
- ◆日時：実施時期：平成28年7月30日（土）、12月は未定
- ◆講師（予定）：

中桐万里子氏 親子をつなぐ学びのスペース「リレイト」代表。

京都大学大学院修了。臨床教育学。教育学博士。

弘田陽介氏 大阪総合保健保育大学大学院・大阪城南女子短期大学専任講師。

辻本雅史氏 国立台湾大学教授。京都大学名誉教授。

他

以上